

第 14 回 生活の中のカウンセリング

「発達臨床心理学の最前線」

全 6 回 (2012 年 6 月 9 日～2013 年 1 月 12 日)

現代社会における子どもや家族の問題に、発達臨床心理学はどのようにアプローチしうなのか。今回の生活の中のカウンセリングでは、障害のある子どもや家族への支援、幼児期・学童期の発達支援を中心に、最新の動向を知る機会として「発達臨床心理学の最前線」というシリーズで企画した。

講師の市川先生には、学校や園という「集団における発達支援」について、本郷先生には「被災地における子どもの支援」について、佐久間先生には「子どもの発達の知見」について、長崎先

生には「将来の成長を見据えた発達支援」について、汐見先生には「発達臨床心理学の目指すもの」について、平木先生には「家族支援の最前線」という視点から、それぞれ最新の知見を踏まえながら、非常に興味深いお話をいただいた。

6 回の講座で、延べ 408 名の参加者があり、参加者からは活発な質問や意見交換がなされた。また、アンケートからも非常に好評であった様子が伺えた。

(福丸由佳)

【プログラム】

- 6 月 9 日 (土) 市川 奈緒子 白梅学園大学准教授
「幼児期・学童期の発達支援 ―集団の中での育ちこそ 生きる力になる―」
- 8 月 4 日 (土) 本郷 一夫 東北大学教授
「発達障害のある子どもの支援について ―被災地への支援―」
- 9 月 15 日 (土) 佐久間 路子 白梅学園大学准教授
「子どもの心の発達と支援 ―発達臨床心理学の知見を活かして―」
- 10 月 6 日 (土) 長崎 勤 筑波大学教授
「将来の成長を見通しつつの発達支援 ―幼児期・児童期に育てたい力とは―」
- 12 月 8 日 (土) 汐見 稔幸 白梅学園大学・白梅学園短期大学学長
「発達臨床心理学が目指すもの」
- 2013 年 1 月 12 日 (土) 平木 典子 統合的心理療法研究所 (IPI) 所長
「家族支援の最前線について」